



幸福実現党党首
釈量子が
寒川町におじゃまします!!

幸福実現党

街頭
演説会

11月15日(日)

13:00~13:40

スーパーなかや前

弁士: 釈量子、はしもと修一



←釈量子公式サイト <https://shaku-ryoko.net>

※予定は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



幸福実現党「言論チャンネル」では、
政治や経済、社会保障、国際問題などの時事問題の中から、
気になるテーマを取り上げながら、本音の議論を進めています。

チャンネル登録
9.27万人!!
2020年9月現在



言論チャンネル

検索

YouTube

動画による言論活動も行なっています。ぜひご覧ください!



はしもと修一YouTube

検索

はしもと修一
プロフィール

ブログ、Facebook、Twitter



1968年、横浜市生まれ。寒川町在住10年。
和光大学経済学部卒業後、進学塾の室長など教育機関に勤務。その後、ケアマネージャー、介護福祉士の資格を取得し、現在は寒川町の福祉施設に勤務。

寒川町青少年環境浄化推進協議会専任委員、
寒川町青少年指導員として青少年の健全育成活

動に参加。地元の福祉ボランティア団体に所属し、視覚障がい者への支援活動を行う。

また、「一般社団法人ユー・アー・エンゼル(障がい者支援活動)」、「一般財団法人いじめから子供を守るネットワーク」、不登校支援スクール「ネバー・マインド」各団体の相談員資格を持ち、地域に根差した活動を行っている。

お困りごとやご相談がございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください!

お問い合わせ

はしもと修一後援会 高座郡寒川町一之宮8-16-7 TEL.080-7059-2541

発行: 幸福実現党 神奈川県本部 神奈川県横浜市金沢区泥亀1-28-E607



はしもと修一 しゅういち

2020年秋号

通信

町民の皆様、こんにちは。

平素より格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

地域に根ざした活動を継続する中で、

さまざまなご意見やご要望を賜り、誠にありがとうございます。

これからも、身近な生活上での疑問やマスコミが報じない真実などをわかりやすくお伝えできるよう取り組んでまいります。

ぬくもりのある“幸福社会 さむかわ”を実現!

- 1 生活基盤の安全と安心を第一に。
- 2 減税、規制緩和、雇用創出。→町と皆様の財産を守ります!
- 3 自助、共助の精神を大切に、住みよい町づくりを目指します。

食糧危機のリスクに備えよう!

日本の食糧自給率をご存じですか? 2018年度の日本の食糧自給率は37%で過去最低。日本が豊かな食生活を送れているのは、サプライチェーン(供給網)を分散し、他国から輸入しているため。しかし、次の問題が発生。

- 中国では豪雨による洪水被害が相次ぎ、食糧危機が懸念。中国からの輸入依存度が高い日本では、野菜を中心に不足する可能性が。
- コロナ禍がサプライチェーンに影響。
- 農業国が輸出を制限。●移動制限により労働者確保が困難に。
- バッタの大群がアフリカ、中東、南アジア、南米そして中国などで、農作物等に甚大な被害を及ぼしている。
- 軍拡の一途をたどる中国が、アメリカと南シナ海、東シナ海等で衝突した場合、食品船の航行に支障。また、東南アジア、台湾からの輸入も停止。

食糧安全保障の見直しが急務。中国依存からロシアなどへ供給網を見直し、また、食品ロスの有効活用、コロナ失業者を緊急対策として農業従事へ。さらに、中間山地*の活用や、学生の農業体験制度の充実など。寒川町においても、農地の生産性や食糧自給率を高める取り組み等が求められます。「田端西地区のまちづくり」への食物工場の誘致なども有効。

バッタの襲来は古来より“天罰”として人々に恐れられてきました。旧約聖書『出エジプト記』の記述が有名。中国共産党による、人類史上類をみないほどの人権・宗教弾圧。香港や近隣諸国への侵略。武漢発コロナウイルスの漏洩と隠蔽、その結果としての世界への蔓延。さまざまな天変地異は、中国一党独裁の横暴から、自由・民主そして信仰といった価値観を取り戻すために、天の意志が働いているのではないのでしょうか。

*中間山地とは国土の7割を占め、山と平野の境目の地域。



はしもと修一 しゅういち

活動報告

町長に要望書を提出

行き過ぎたコロナ感染防止対策が、経済や教育、人々の心理面に与える影響の深刻さを考慮し、「外出自粛及び休業要請早期終了の働きかけ」を求める要望書を、令和2年5月、寒川町長宛に提出しました。

所管の町民安全課、産業振興課、学校教育課、町民窓口課より返答をいただきました。



道路補修を働きかけ

「道路が大きく凹んでいる箇所は、降雨によって水溜りができるのを何とかして欲しい」。

地域の方よりこのようなご要望を伺ったので、町の道路課に相談したところ、さっそく道路を補修していただきました。



地域の皆様のお役に立つための暮らしに根ざした問題への取り組みから、自由や人権、民主主義を守るための国際的な問題への取り組みまで、すべては今を生きる皆様と、そして未来の子供たちのための活動です。その一端をご報告させていただきます。

義援金の募集活動

令和2年7月初旬に起きた九州豪雨災害に対する義援金の募集活動を、寒川駅近くにおいて行ないました。

皆様より大変温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。9月3日、熊本県球磨村に50万円を寄付いたしましたので、ご報告申し上げます。



フラットパーク問題

地域の方より、「フラットパークは建築基準や用途変更の許可なく運営している」とのご意見をいただきました。役場の担当課に確認を要請したところ、指摘の通りとのこと、施設の利用を中止し、新しい物件を探すとの返答を得ました。

町民の血税が投入され、町として力を入れている事業だけに、町民の皆様が安全に安心してスポーツを楽しめるよう、健全な事業運営を進めていただきたいと思います。



宮山駅「駅舎改修」へ！JR東が町に打診

さむかわ
タウン
TOPICS

年間約200万人の参拝客が訪れる寒川神社の最寄駅である宮山駅を改修する可能性が、平成30年第1回定例会6月会議の一般質問の答弁の中で明らかにされました。町によると、平成29年12月にJRから駅舎改修の意思が示され、今後協議を進める方針という。



1931年に地元住民の請願として設置された宮山駅駅舎。

■ 利用者の利便性向上へ！

宮山駅の利用者の利便性向上の課題として、駅前広場の設置があります。近年、駅周辺の宅地化が進んだことや駅から神社へ向かう参拝客も増加（県外からの利用者も多い）する中、町の玄関口、である当駅の駅前広場の設置は重要な政策だと考えられます。

また、長年、利用者のための懸案事項であったトイレの設置は、「神奈川県鉄道輸送力増強促進会議」による令和元年度のJR東日本への要望書には、「宮山駅への多機能トイレの設置」が盛り込まれました。JRの回答としては、駅舎改修に合わせ町と協議を進める方針とのこと。今後の進展に注目しましょう。

■ 「ブランド力」向上の秘策

さらに、宮山駅改修は、やり方次第で町の「ブラン

ド力、向上の起爆剤になる可能性があります。

その一つ、「ご当地駅メロ」の導入。当駅周辺は県下最大のスイートピーの産地であり、名曲『赤いスイートピー』に登場する「春色の汽車」は、相模線に当てる説が有力です。駅周辺の牧歌的な雰囲気に合致する『赤いスイートピー』を、JR相模線初のご当地駅メロとして導入することは、町の認知度やブランド力向上のために検討に値します。

■ 将来を見据えた設計に！

また、JR相模線の橋本駅にはリニア中央新幹線の新駅設置が予定され、倉見駅では東海道新幹線の新駅誘致が進展していますが、神奈川県「県央・湘南都市圏」を南北に縦断するJR相模線の輸送力増強により、首都圏南西部のビジネス・観光等の経済産業の発展に寄与することが期待されます。そのために、沿線自治体等で構成される「相模線複線化等促進期成同盟会」では、第1ステップとして、「行き違い施設の整備」を掲げていますが、宮山駅はこれに該当します。将来を見据えた設計となるよう、町は県等の関係機関と連携し、JRとの交渉を全力で進めていただきたいと思います。



将来の「行き違い化」を見据えたホームの設計を。

意外と知られていない寒川町の歴史と偉人

寒川の歴史や偉人、そして日本の素晴らしさを発信してまいります。

相模国最古の古代寺院は「寒河寺」か!? —下寺尾廃寺

下寺尾廃寺は発掘調査の結果から、7世紀頃国分寺創建以前に既に建立されていた、相模国最古の初期古代寺院の一つです。驚くべきことに、この古代寺院の名称が「寒河寺」、であった可能性があります。

平安時代の史書『日本三代実録』に、貞観15年(873年)に海老名にあった相模国分尼寺が「漢河寺」という寺院に一時移転したことが記されています。この「漢河寺」こそ、下寺尾廃寺であるとする説が複数の郷土史家により提唱され、現在有力説となっています。

その理由として、下寺尾は古代寒川郷に相当する地域に含まれ、「漢河=寒河(寒川)」と通音であること。付近に移転可能な大型寺院が、下寺尾廃寺しかないことが挙げられています。

また、海老名の「尼の泣き水伝説」、寒川の「美女塚(高安善塚)伝説」という下寺尾廃寺が相模国分尼寺であったことを「匂わせる、興味深い説話も残されています。



下寺尾廃寺は、相模国分尼寺が一時移転した「漢河寺」に当てる説が有力に。隣接地には古代役所(高座郡衙)もあり、付近を古代官道が通過。古代寒川郷は地域の政治・文化の中心として機能していたことが伺えます。

参考文献：鈴木靖民『相模の古代史』(2014年、高志書院)

血税は有効に使われている？ 向かう先は全体主義、監視社会！

政府は120兆円をコロナ対策に投入。全国一律の特別定額給付金10万円が給付されましたが、所得が低下した世帯に限るべきではなかったのか。布マスクに466億円。購入できるようになってやっと布マスクが届く。使用率4%といった調査結果も。その他多くの血税がコロナ名目で無駄に使われています。

非常事態宣言、営業時間の短縮、行動制限などにより経済が破綻し、今後、大増税(補助金分含め)となれば生活の圧迫は避けられません。同時にマイナンバーカード(口座への紐付けにより、個人の資産状況の把握が可能となる)やコロナアプリ等の推進で、日本もいよいよ「監視社会」への道を……

政府や地方自治体は国民への行き過ぎた関与を止め、国民の自由と自助の精神を尊重することで、民間活力の最大化を計るとともに、小さな政府(地方自治体)・安い税金を目指すべきです。